



AI storm

2025年12月期

第1四半期 決算説明資料

AIストーム株式会社（証券コード：3719）

2025年5月15日

1. 2025年12月期 第1四半期決算概要
2. 各事業の主要トピック
3. 持続的成長に向けた成長戦略
4. APPENDIX

2025年12月期 第1四半期決算概要

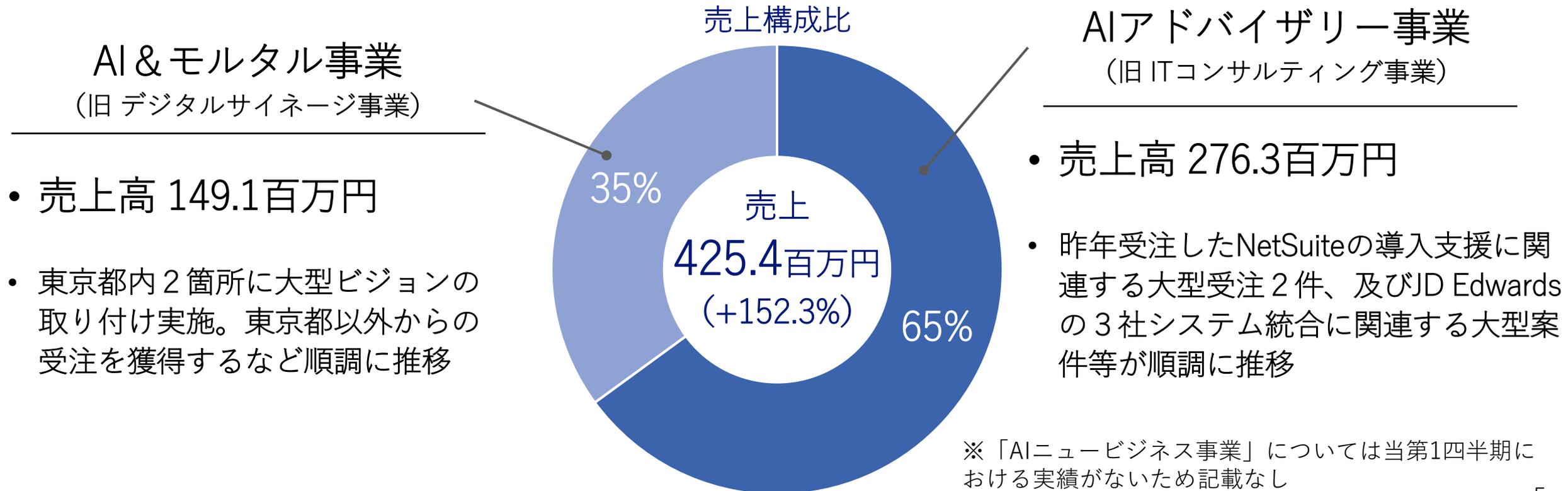
1. 2025年12月期 第1四半期決算概要 - 業績ハイライト -

- 売上高は**425.4**百万円(前年同期比**+152.3%**)、営業利益は**54.0**百万円(前年同期は**△0.1**百万円)、経常利益は**49.7**百万円(前年同期は**△0.1**百万円)。
- 全事業ともに順調に推移し、期初計画を大きく上回った。利益率向上を意識した経営が功を奏し、営業利益・経常利益・純利益も前年同四半期より大幅に改善。

単位：百万円

	2024年12月期 第1四半期累計	2025年12月期 第1四半期累計	前年同四半期 増減率	第1四半期 計画達成率	2025年12月期 業績予想	進捗率
売上高	168.6	425.4	+ 152.3%	133.0%	1,600	26.6%
営業利益	△0.1	54.0	—	158.9%	170	31.8%
経常利益	△0.1	49.7	—	146.3%	170	29.3%
純利益	△0.4	53.3	—	222.3%	120	44.5%

- 第1四半期より「AIアドバイザー事業」「AI&モルタル事業」「AIニュービジネス事業」の3区分に変更
- AIアドバイザー事業の売上高は276.3百万円（前年同期比+89.0%）、営業利益は66.2百万円（同+231.0%）、AI&モルタル事業の売上高は149.1百万円（同+567.2%）、営業利益は41.3百万円（同+105.8%）となった。



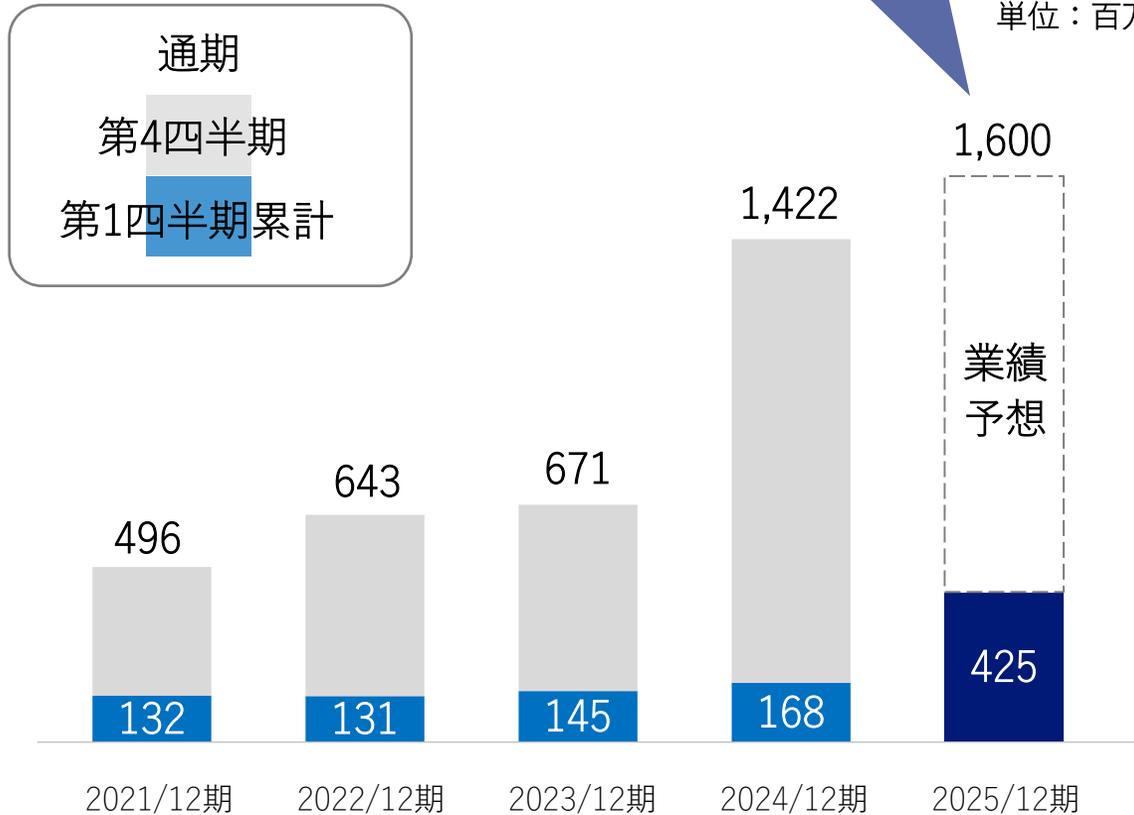
1. 2025年12月期 第1四半期決算概要 - 業績推移 -

- 過去最高の売上高・営業利益を達成
- 売上高進捗率**26.6%**、営業利益進捗率**31.8%**の水準

売上高

進捗率**26.6%**

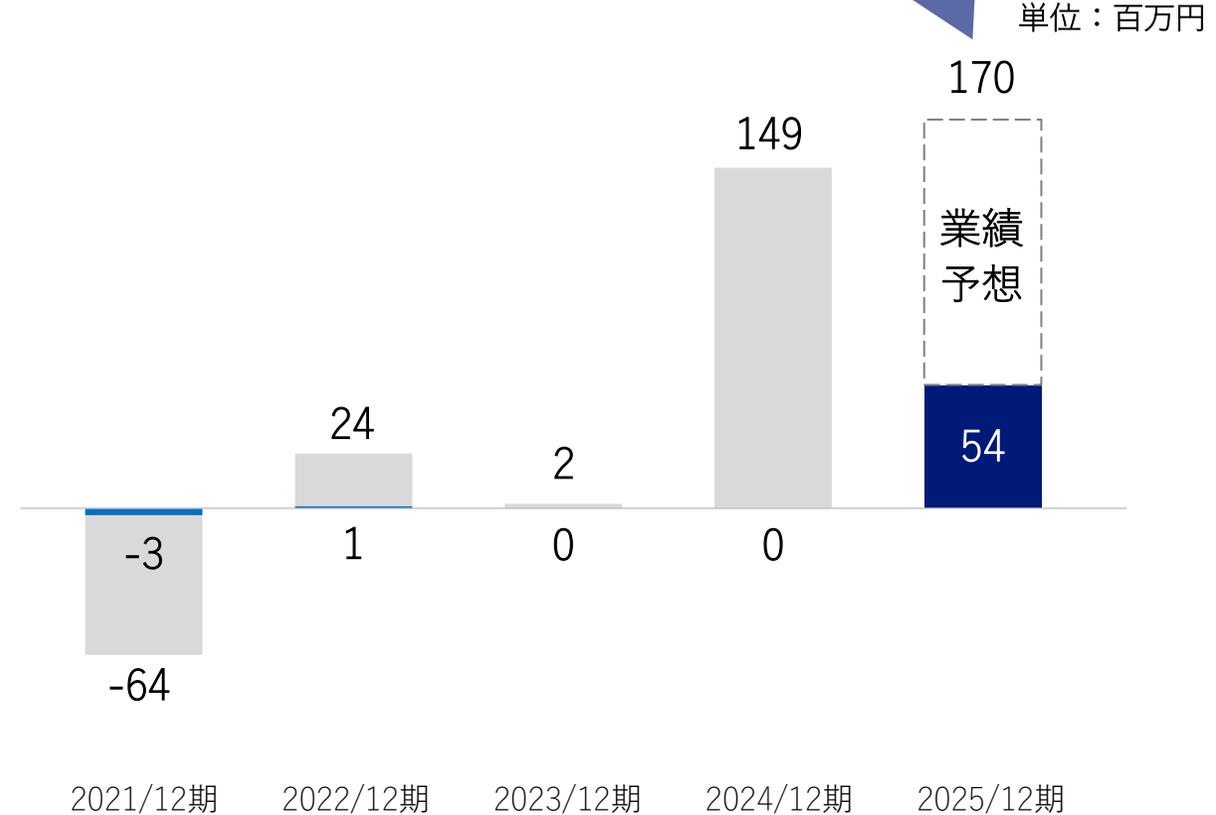
単位：百万円



営業利益

進捗率**31.8%**

単位：百万円



各事業の主要トピック

- AI需要拡大のため、提案体制を大幅に拡大予定
- 既存事業領域拡大・新規事業領域進出に向け、資本提携やM&Aを積極検討

ERPコンサルティング

- オラクル社のJD Edwards及びNetSuiteに関連する案件を中心に推移
- NetSuiteの需要拡大（昨年比2倍）中、IBM社との協業連携を強化しIBM社顧客への提案促進
- 人事コンサルティング分野におけるタレントマネジメントの導入・支援の受注も増加

AI・DX領域

- あらゆる業界においてAI需要が大幅に拡大中
- AIテクノロジー系企業との業務提携を加速し、AI・DX領域におけるサービス提供を準備中
- 社内人員体制を継続強化し、さらなる展開を予定

M&A・新規事業

- Wi-Fi7事業参入：次世代通信規格Wi-Fi7を搭載したルーター「Wi-Fi7 GT-780」販売開始
- M&A：シナジーが期待できる企業とのM&A交渉を積極推進
- BPO：BPO事業会社と提携協業しスタートしたプロジェクトも順調に推移

各段の進化を遂げた次世代通信「ジェクシード Wi-Fi7 GT-W780」発売開始



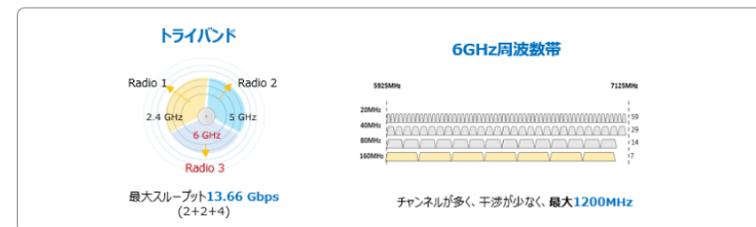
株式会社ジェクシード (以下「ジェクシード社」) は、2025年2月21日より最大通信速度がWi-Fi6の約4.8倍となる次世代通信企画Wi-Fi7を搭載したルーター「ジェクシード Wi-Fi7 GT-W780」の発売を開始します。新たな機器はAIによる帯域の最適化を図ることで大量データでも高速通信できることが最大の特長です。

Wi-Fi7の主な特徴は次のとおりです。

- (1) 2.4GHz、5GHz、6GHzの3つの周波数帯を使用できる
- (2) 最大通信速度は理論値では46Gbpsで、Wi-Fi 6の約4.8倍
- (3) 4K-QAM (4096QAM) やMLO (マルチリンク機能) などの新技術が追加されている
- (4) データの伝送遅延や信号伝送時間のズレ、揺らぎが減少している

<弊社Wi-Fi7製品 GT-W780>

高密度環境対応可能 GT-W780



パラメータ	仕様	パラメータ	仕様
スループット	13.66 Gbps (0.69Gbps+1.44Gbps+11.53Gbps)	アンテナ	内蔵スマートアンテナ
ラジオ	2x2 @ 2.4 GHz (40 MHz) 2x2 @ 5 GHz (80 MHz) 4x4 @ 6 GHz (320 MHz)	ポート	1x5GE RJ45+1xGE RJ45 5GE はPoE-inに対応
給電	DC: 12 V ± 10% PoE: 802.3at/af	IoT拡張	BLE5.2+USB

ジェクシード社とTIGEREYE社、 AI技術を活用した事業提携契約を締結

～両社の強みを活かしたAI戦略的提携！ ジェクシード×TIGEREYE、AIが切り拓く未来～



2025年2月3日、株式会社ジェクシード（以下「ジェクシード社」）と株式会社TIGEREYE（以下「TIGEREYE社」）は、AI技術を活用した画像認識に関する事業提携を発表しました。



新サービスの内容

1. 顔認証による乗車・下車管理システムの導入

TIGEREYE社が提供する「顔パスキー & 入退室」技術を活用し、トラック運行時の乗車ドライバーの顔認証および乗車・下車時間とGPS位置情報を正確に記録します。これにより、業務のDX効率化と従業員管理の精度向上が実現されます。また、異なるドライバーが乗車するなどの配車ミスを抑制します。

2. 感情認識によるドライバーのストレスモニターリング

顔認証と併せて感情データを分析し、ドライバーのストレスレベルを可視化します。必要に応じて早期のフォローアップを実施し、ドライバーのウェルビーイングをサポートします。

期待される効果

- ドライバーの勤務状況を正確に把握し、適切な勤務管理を実現します。
- 感情分析を活用したストレス管理により、従業員の健康と安全をサポートします。
- 業務効率化とコスト削減を促進します。
- 顔認証により予定外ドライバー乗車などの配車ミスを抑制。

ジェクシード社とプロラボホールディングス社が業務提携

～AI×健康×睡眠ビジネスの新時代へ～

2025年3月28日

2.各事業の主要トピック



株式会社ジェクシード（本社：東京都、代表取締役 今井俊夫、以下「ジェクシード」）と、株式会社プロラボホールディングス（本社：東京都、代表取締役会長 兼 CEO 佐々木広行、以下「プロラボホールディングス」）は、AI技術を活用した健康・睡眠ビジネスの推進およびプロラボホールディングスの仕入れ業務の適正化を目的として、業務提携契約を締結いたしました。

Pro Labo Holdings®

■ 業務提携の主な内容

1. AI技術を活用した健康・睡眠関連事業の共同開発および推進
2. プロラボホールディングスの仕入れ業務の適正化に向けたAIの導入および最適化
3. ジェクシードによるプロラボホールディングスの仕入れ業務の一部または商流帳合
4. 合併会社を通じた新規事業の立ち上げおよび市場拡大

本提携を通じて、より多くの人々の健康と睡眠の質を向上させる革新的なソリューションを提供してまいります。

■ 今後の展開

2025年4月1日付で合併会社を設立し、具体的なサービス開発および市場投入を進めてまいります。両社は、これまでの知見と技術力を結集し、健康・ウェルネス市場に新たな価値を提供することを目指します。

- LEDビジョンやデジタルサイネージの販売・レンタル・設置工事・コンテンツ制作・運用管理・保守まで最適なソリューションをワンストップで提供中
- LED看板設置とアドトラックによる広告がスタートし、順調に提案件数が増加

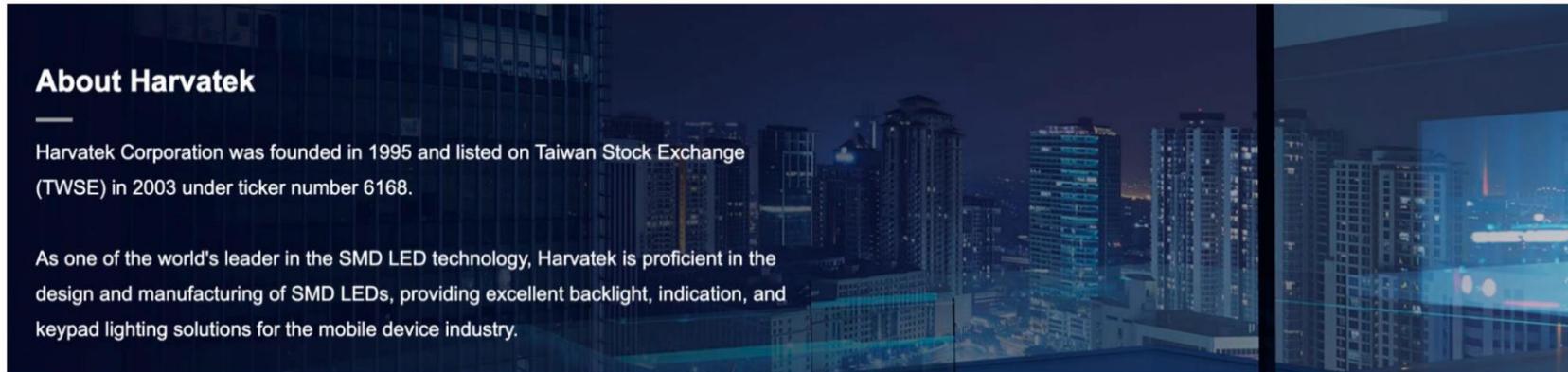
LED VISION

高品質・低価格を実現。

LEDビジョンやデジタルサイネージの販売、レンタル、設置工事、コンテンツ制作、運用管理、保守まで最適なソリューションをワンストップで提供します。



- 世界最先端プロダクトを有する台湾メーカーHarvatek Corporationとの独占販売権取得後、本格的に、東京、大阪など複数個所にLED設置が進行中。



HARVATEK社の紹介

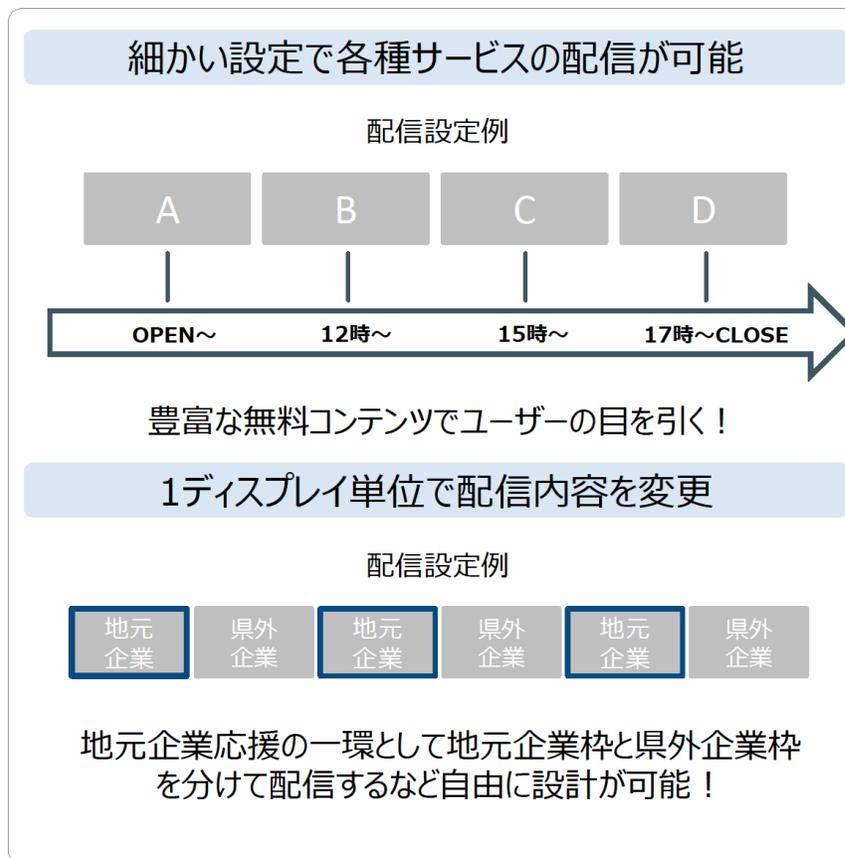
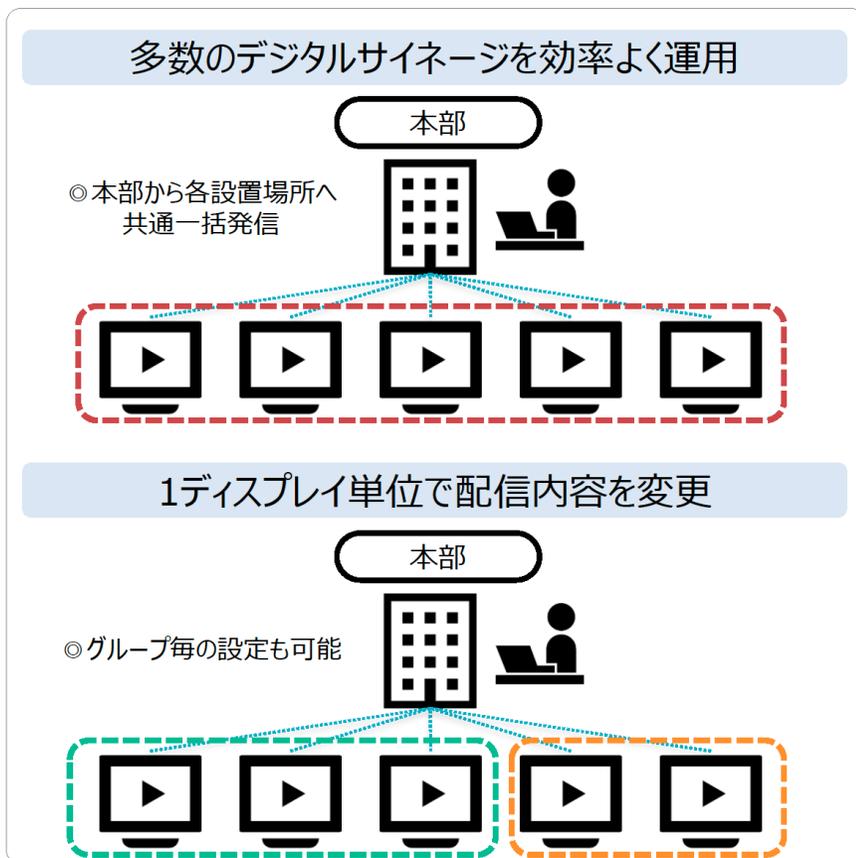
LEDランプの台湾最大手企業であるHARVATEK社。
自社製品品質検査機能を備えた自社工場では、他社製品のLEDランプ品質検査も担っています。
品質の高さ、更に製品品質の安定性は世界的に評価をされており、各国のLEDディスプレイ製品製造企業へ取引されています。

設立 : 1995年3月（上場：2002年3月/ No.6168）
所在地 : Hsiang-Shan, Hsin-Chu (Taiwan) Hsin-Chu Science Park, Hsin-Chu (Taiwan)
従業員 : 650名



独自のコンテンツマネジメントシステム提供

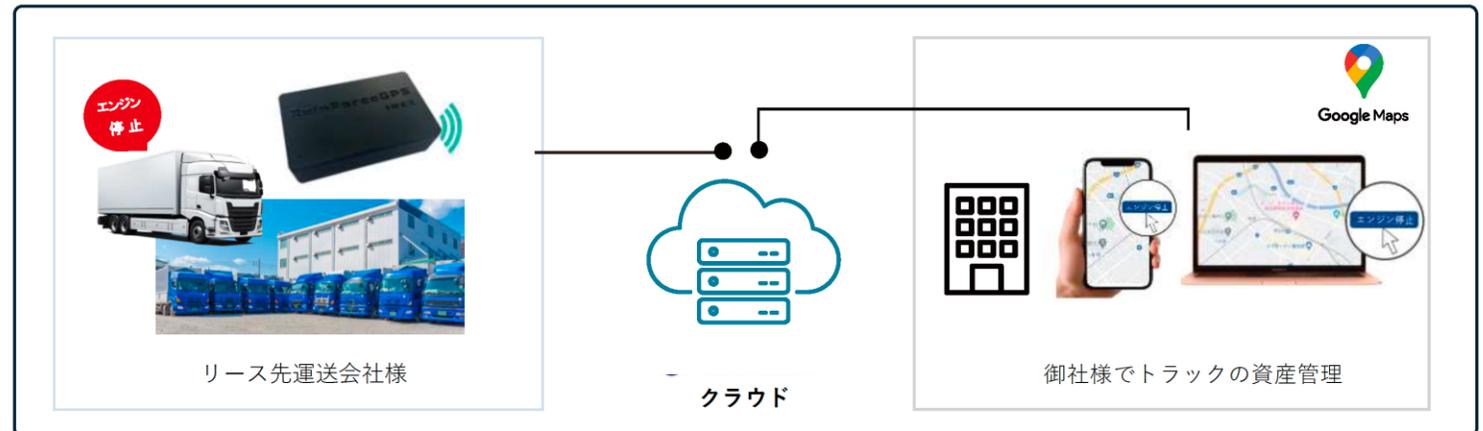
- 当社の強みであるソフト（システム）部分の運用についてもサポートしております。
- 1 設置場所単体の管理から、多数の設置場所の一括管理まで当社独自のサイネージ用コンテンツマネジメントシステムでサポートが可能となります。



- 昨年より事業参入した、各種貨物車両を対象とする匿名組合を活用したファンド（SPC）事業が順調に推移、当第1四半期内に第2号ファンドまで組成完了。第2四半期以降、第3号ファンドの組成も進行予定。
- 従来のトラックリース事業にあった回収業務の煩雑さ、コスト増大、回収リスク、資産の不正利用などの課題を、当社独自技術による資産管理システムにより安心・安全な投資を実現していく



トラックリース資産管理サービス



持続的成長に向けた成長戦略

2025年は既に発表の通り社名及び事業目的の変更を行うなど、**更なる成長を目指して構造改革**を行って参ります。
その道しるべとして、2025年12月期を初年度とする三か年新中期経営計画を策定致しました。

AIを基軸とした新たな事業戦略による成長をご期待ください。

『AIを核とした企業へ進化、事業ドメインの聖域なき改革』

『AI新規事業の創出とM&A/資本提携の積極推進』

3年後の目標時価総額 500億円

ERP事業で得た強み

業務コンサルの知見

製造・小売・金融・サービスなど多
業種のビジネスフローを把握

システム統合力

企業の基幹を支える
豊富なERP導入経験

顧客基盤

ERP導入を通じた粘着性の高い顧客
基盤・長期リレーションを保有

AI市場での優位性

実用性の高いAIの実装

顧客企業にとって
使いやすい「実用性の高いAI」
の実装が可能

AIと既存システムの橋渡し

高度な最新AI技術と
既存技術・システムの
橋渡しが可能

早期の売上創出

AI中心戦略に移行した後も
早期に売上創出が可能

1 業界特化型 『AIアドバイザー事業』

- 製造・物流、流通・小売といった**大きい市場規模を持つ業界**に、ERP導入の知見を活かし、「**企業内機能領域**」に**AIソリューション**を提供する。
- 例として、物流業界では画像認識AIを活用したトラック運行管理サービスを提供しており、このような業務特化のAIソリューションを、**コンサルティングと実装の両面で提供**する。

2 新業態展開 『AI&モルタル事業』

- 既存事業×AIで**新しいビジネスモデル**を構築する。

3 新事業開発 『AIニュービジネス』

- AIの普及に伴う**新たなビジネス領域へ参入**する。
- M&Aや資本・業務提携を積極活用する。

- 中長期の持続的成長のため、4つの重点戦略を策定

人材戦略

- AI技術者の積極採用
- AIコンサルタントの社内教育
- M&Aを通じた人材確保

財務戦略

- M&A・資本提携
- 第三者割当増資による資金調達
- PIPEsの活用

顧客獲得戦略

- 既存チャネル・既存顧客の活用
- AI関連新製品の投入
- IR/PRの強化
- メディアの積極活用

株価・企業価値向上戦略

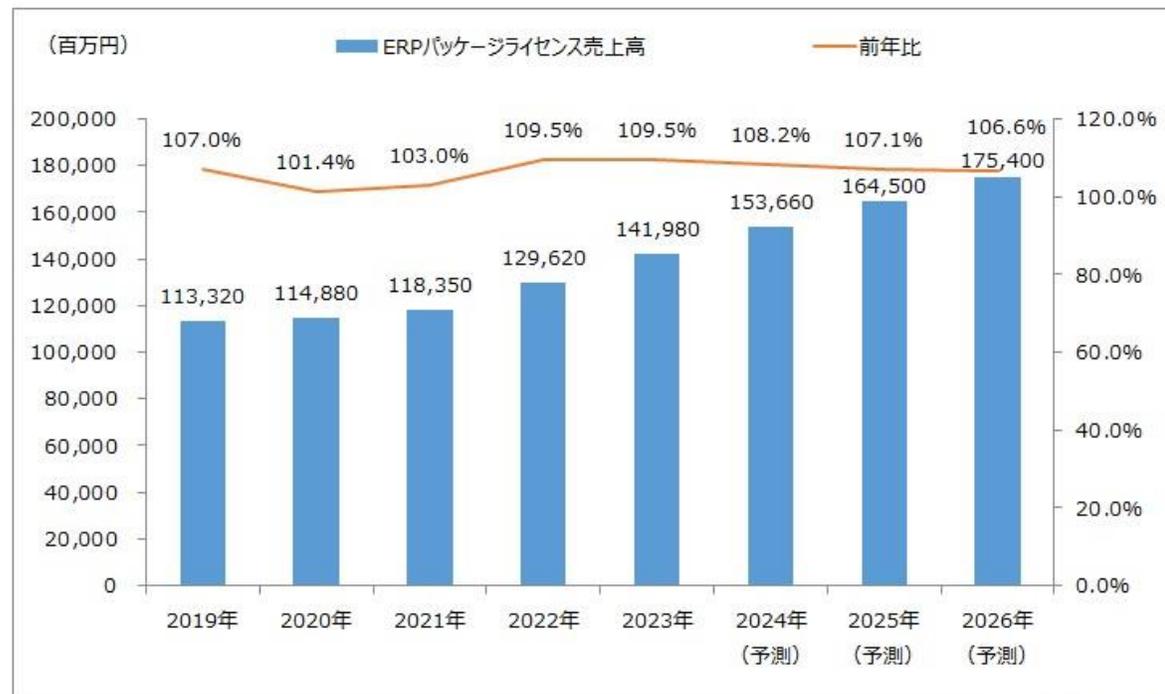
- 今期から配当性向30%実現
- 自社株買いによる企業価値向上

APPENDIX

● 急成長市場で優位性のあるポジション獲得を実現する

AIアドバイザー事業 (旧 ITコンサルティング事業)

ERP市場はDX投資やレガシーシステムからのリプレイスの追い風を受け堅調に成長



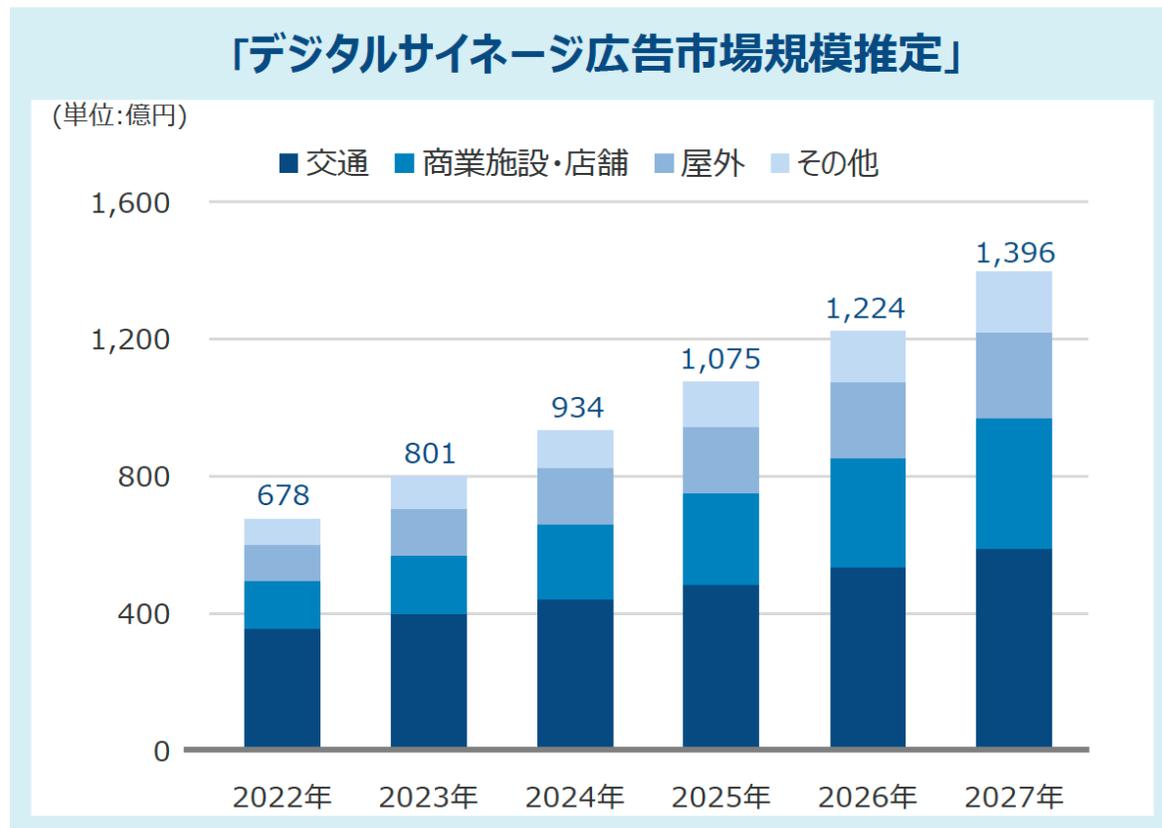
矢野経済研究所調べ

注1. ERPパッケージベンダーのライセンス売上高 (クラウドのサブスクリプション売上高を含む) をエンドユーザ渡し価格ベースで算出

注2. 2024年以降予測値

AI&モルタル事業 (旧 デジタルサイネージ事業)

2027年のデジタルサイネージ広告市場規模は2023年比の174%増、1,396億円に



● 両事業において強力なグローバルパートナーと提携

AIアドバイザー事業 (旧 ITコンサルティング 事業)

ORACLE

データベース管理、クラウドサービスのグローバル企業（米国）
24年以上に渡り日本オラクル株式会社の認定パートナー。
サービスは「NetSuite」、「JD Edwards」導入支援、保守・運用支援中。
国内拠点アライアンスパートナー7社中、最上位の位置づけ。

cornerstone

人材管理および学習管理システム提供のグローバル企業（米国）

AI & モルタル事業 (旧 デジタルサイネージ事 業)

HARVATEK

LEDランプの台湾最大手企業（台湾上場）

INNOLUX 群創光電

液晶ディスプレイ台湾大手企業（台湾上場）

流通・小売
E-Commerce



ANA 全日空商事株式会社
ALL NIPPON AIRWAYS TRADING CO., LTD.

MOLESKINE®
www.moleskine.co.jp

Oh My Glasses

STEAMCREAM®
SIMPLE QUALITY SKINCARE

KINTO

MORaine CORP.
Trading History

boco

AUTOSACS GROUP

AITO

BODYMAKER

製造



BECKHOFF

旭ダイヤモンド工業株式会社

住友精化株式会社
SUMITOMO SEIKA CHEMICALS CO., LTD.

PUNCH INDUSTRY
PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

AOSHIMA

FUTECH

PreXion

SPPテクノロジーズ株式会社
住友精密工業株式会社

HAFELE

Magnescale

SMC

IT Software



DeNA

Kii

PREAMP

six apart

GROUPON

DAL
Data Applications Company, Limited

WBC ワールドビジネスセンター株式会社

startialab

iSiD
IT Solution Innovator

サービス



peach

THOMSON REUTERS

MAOS
MAKE AN OFFER OF SOMETHING

水ing

MCAP
MC Aviation Partners
a subsidiary of Mitsubishi Corporation

CDG

フレンドパーク

HACHIYOH

ISHIGAKI

エンタープライズ



OLYMPUS

asics

QUALCOMM

AMERICAN EXPRESS
GLOBAL BUSINESS TRAVEL

Johnson & Johnson

BLUE BOTTLE COFFEE

MetLife

P&G

AsahiKASEI

製品のご紹介

Product Introduction

LED VISION



屋内用LED VISION



屋外用LED VISION



トラック用LED VISION



システム一体型オールインワン



スタンド型LED VISION



透過型/シースルーLED VISION

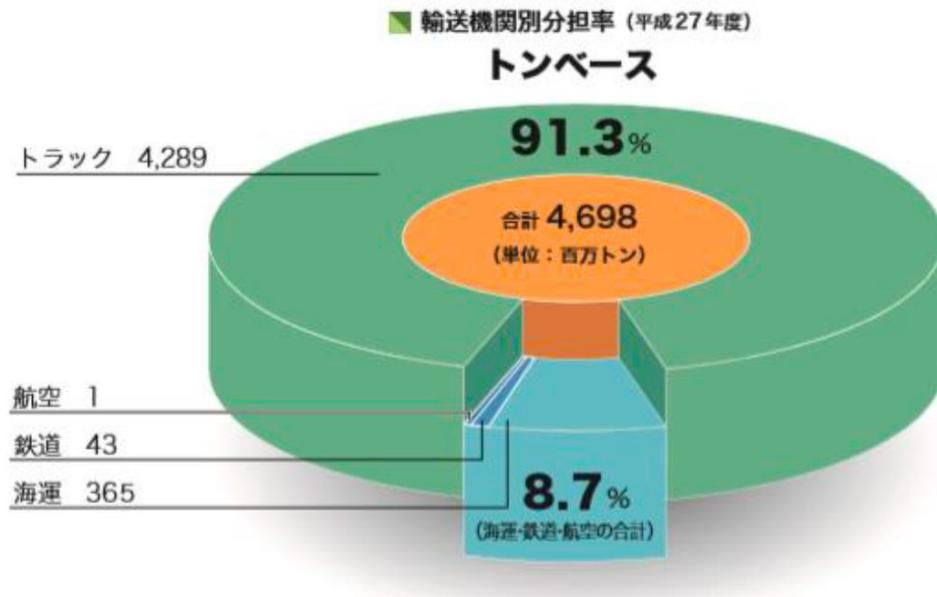


サイネージ (液晶LCD)

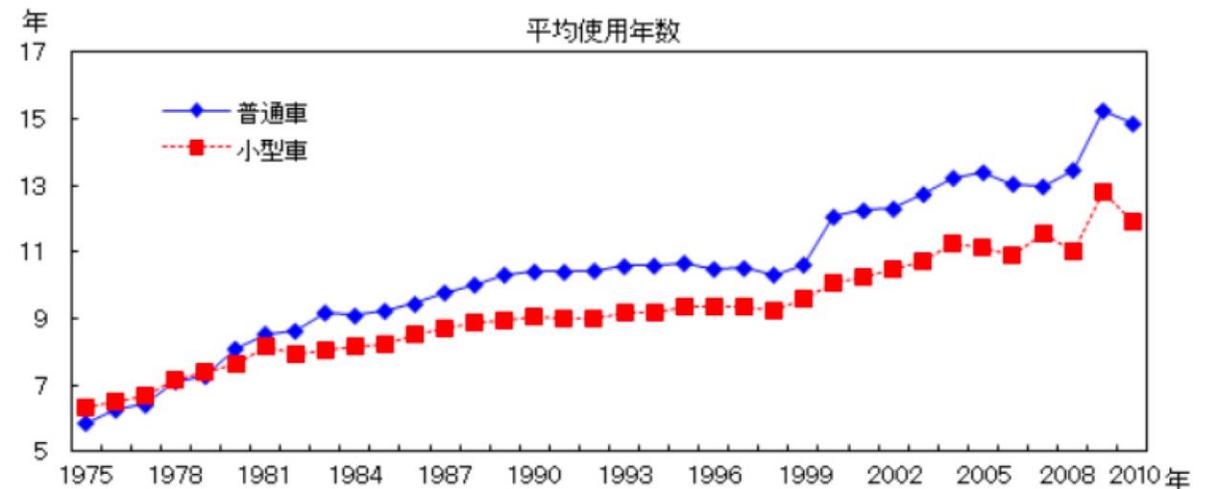


キャスター付きポスター型

- 国内貨物輸送量の内、約9割をトラック輸送が担っており、物流における基幹的な役割を果たしている。
- トラックの平均使用年数は14.87年である一方、法定耐用年数は5年でそのギャップにより中古市場が活性化している。



出典：公益社団法人 全日本トラック協会



出典：公益社団法人 全日本トラック協会

会社名	AIストーム株式会社 (AI storm Co., Ltd.)	本社所在地	〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-17-11 榮葉ビル9階
資本金	95,000千円 (2024年5月1日現在)	大阪事務所 所在地	〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町 2-3-6 山岡ビル8階
設立	1964年10月	事業内容	AIアドバイザー事業 AI&モルタル事業 AIニュービジネス事業
上場証券 取引所	スタンダード (証券コード: 3719)	経営陣	代表取締役 今井 俊夫 副社長執行役員 陳 大軍 取締役 辛 澤 社外取締役 松田 華織 社外取締役 監査等委員 寺尾 潔 社外取締役 監査等委員 大澤 健太郎 社外取締役 監査等委員 陸 敏 社外取締役 監査等委員 仲摩 昌三
URL	https://www.ai-storm.co.jp/		
人材派遣 許可番号	派13-311322		



AI storm

ご留意事項

本資料に記載されている業績予測や将来の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、リスクや不確実性が含まれております。そのため、さまざまな要因の変動により、実際の業績が記載された将来の見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご了承ください。

お問い合わせ先

AIストーム株式会社

IR担当 管理部 増尾 雅人

メールアドレス：masato-masuo@ai-storm.co.jp